

5:1 群衆がイエスに押し迫るようにして神のことばを聞いたとき、イエスはゲネサレ湖の岸べに立っておられたが、

5:2 岸べに小舟が二そうあるのをご覧になった。漁師たちは、その舟から降りて網を洗っていた。

5:3 イエスは、そのうちの一つの、シモンの持ち舟にのり、陸から少し漕ぎ出すように頼まれた。そしてイエスはすわって、舟から群衆を教えられた。

5:4 話が終わると、シモンに、「深みに漕ぎ出して、網をおろして魚をとりなさい。」と言われた。

5:5 するとシモンが答えて言った。「先生。私たちは、夜通し働きましたが、何一つとれませんでした。でもおことばどおり、網をおろしてみましょう。」

5:6 そして、そのとおりにすると、たくさんの魚がはいり、網は破れそうになった。

5:7 そこで別の舟にいた仲間の者たちに合図をして、助けに来てくれるように頼んだ。彼らがやって来て、そして魚を両方の舟いっばいに上げたところ、二そうとも沈みそうになった。

5:8 これを見た

。これから後、あなたは人間をとるようになるのです。」

5:11 彼らは、舟を陸に着けると、何もかも捨てて、イエスに従った。

シモン・ペテロの召命（働きのために召し出されたこと）の記録です。主の働きのために呼ばれることは光栄なことですが、実は誰もが主からこのように呼ばれているのです。

主は無理やりに人を苦しめて召すような方ではありません。私たちに對してもこのように、仕事など日常の中で恵と力を表して、その聖なる権威などについてはこれを受得させた上で、尊い働きのために、「あなたは人間をとるようになるのです。」と、宣言と約束で召してくださるのです。

ただ、ペテロのように、主に従って網をおろすような従順さがあるかどうか、また、恵を受けた後でひれ伏す信仰があるかどうかです。多くの人は大漁の後に、儲けを計算するのもかも知れません。

主からのあなたへの”召し”は何でしょうか。その召しに従いましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

